

報道関係者 各位

滋賀県におけるオセルタミビル(商品名:タミフル)耐性を示す

新型インフルエンザウイルスについて

滋賀県から、タミフル耐性を示すH275Yの遺伝子変異を持つ新型インフルエンザウイルスが分離され、薬剤感受性試験により薬剤耐性が確認されたとの報告がありましたので、その概要について、別紙のとおり、情報提供します。

この件につきましては、19時00分まで健康推進課（528-3619）で待機しております。

資料提供

提供年月日：平成21年(2009年)10月19日

部署名：健康福祉部

所属名：健康推進課

担当名：感染症・難病担当

担当者名：辻・澤

内線：3619・3620

電話：077-528-3619

E-mail：ef00@pref.shiga.lg.jp

抗インフルエンザウイルス薬「タミフル」に耐性を示す 新型インフルエンザウイルスの確認について

滋賀県にて確認した新型インフルエンザ患者から分離された新型インフルエンザウイルスの、オセルタミビル（商品名：タミフル）耐性遺伝子について調べたところ、オセルタミビル耐性マーカーH275Yが検出されましたので、その概要についてお知らせします。

なお、厚生労働省によれば、タミフルに対する耐性を持つ遺伝子変異は、ウイルスの重症度（病原性）には直接影響を及ぼすものではないとされています。

<ウイルス検出の概要>

1 滋賀県衛生科学センターにおける検査結果

遺伝子解析 オセルタミビル耐性マーカーH275Yを検出した。

2 患者の概要および経過

<概要> 24歳、女性

<経過>

- ・本患者（24歳、女性）は、新型インフルエンザ確定患者（9月25日確定）の看護にあっていた。
- ・本患者は、9月25日からタミフルの予防投薬を受けていた。
- ・10月1日より発熱したため、インフルエンザ簡易検査にてA型陽性を確認し、リレンザ投与に変更した。
- ・10月2日に新型インフルエンザをPCR検査にて確定した。
- ・患者は既に治癒している。

<その他>

- ・9月25日確定の新型インフルエンザ確定患者は、タミフルに感受性であった。
- ・本患者（24歳、女性）の周辺には、タミフル耐性を示す者はいない。

* 患者等の個人情報には、特段のご配慮をお願いします。

* 本件は、平成21年10月8日付け厚生労働省新型インフルエンザ対策推進本部事務局通知「新型インフルエンザ（A/H1N1）に係る今後のサーベイランス体制について（改訂版）」に基づき、新型インフルエンザウイルスの遺伝子分析等により、抗原性の変化や薬剤耐性等を確認したことから厚生労働省と連携のもと、公表を行うものです。